

バリ抑制対策とバリ取り・エッジ品質向上技術

日時
2019年 2月8日 (金)
10:30 ~ 16:30

受講料

1名 44,000円+税
2名以上1名 40,000円+税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- 参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- 受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- 開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- 受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

本セミナーでは、バリテクノロジーの我が国の第一人者を講師に迎え、バリの生成メカニズムからバリ取り・エッジ仕上げ技術の選択上に必要なデータ取得とその計測方法、コストパフォーマンスを踏まえた各種加工方法におけるバリレス加工の基礎、JIS規格に基づいたエッジ品質を得るためのバリ取り・エッジ仕上げ技術の選択方法及びその自動化に対する方策に至るまで幅広く解説いたします。さらには、最近のバリレス加工技術やバリ取り・エッジ仕上げ技術の最新動向についても紹介します。設計技術者から生産加工技術者まで、多くの機械技術者の受講をお勧めします。

講師 関西大学 名誉教授 工学博士 北嶋 弘一氏

内容

- バリの残留がもたらす製品のトラブル
- 製品の性能に影響する表面機能とエッジ機能
- 1.エッジと加工表面の品位 2.製品の性能と表面機能
- 3.エッジのもつ工学的機能
- JIS規格におけるエッジの形状表示とエッジ品質の等級
- 1.エッジの品質基準 2.エッジ品質の等級と表示法
- 各種加工法におけるバリの生成メカニズム
- 1.加工性原理とバリの生成 2.バリ生成の実際とシミュレーションによる解析
- 3.各種加工法によるバリ生成メカニズム
- バリの測定および評価の方法
- 1.バリ形状の測定 2.エッジの評価法
- 生産設計段階におけるバリの抑制対策
- 1.製品生産の流れにおけるバリ対策 2.生産設計におけるバリ抑制対策
- 3.工程設計におけるバリ抑制対策
- 各種加工法におけるバリレス加工の基本
- 1.各種加工法におけるバリの抑制法 2.バリレス工具の採用によるバリの抑制効果
- バリ取り・エッジ仕上げ技術の種類とその選定方法
- 1.バリ取り・エッジ仕上げ技術の選択要因
- 2.各種バリ取り・エッジ仕上げ技術の紹介
- バリ取り・エッジ仕上げ技術の自動化に対する方策
- 1.ロボットの利用によるバリ取り・エッジ仕上げの自動化
- 2.NC加工におけるバリ取り・エッジ仕上げのインプロセス化による自動化
- 総括
- 質疑応答【事前アンケートのご質問について解説致します】
- 内容によって一部回答できない場合がございますので、ご了承ください。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 バリ抑制対策とバリ取り・エッジ品質向上技術

セミナーコード

1101-190208

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/2/8 ISS

| | | | | |
|---|------------|----|-------------|--------------|
| 社名 | 所在地 | 〒 | 電話 | () |
| No. | 所属部課(正式名称) | 氏名 | E-mail アドレス | - |
| | | | FAX | () |
| | | | お支払予定 | 当日ご持参 銀行振り込み |
| この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他 | | | | |